



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名 日本金銭機械株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6418 URL <http://www.jcm-hq.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員人事総務企画本部長 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6703-8400

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,562	9.4	399	103.1	389	453.4	293	—
23年3月期第2四半期	9,655	14.7	196	—	70	—	13	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 448百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △788百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	10.88	—
23年3月期第2四半期	0.50	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第2四半期	28,131	22,685	80.6	840.82
23年3月期	27,886	22,426	80.4	831.19

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,685百万円 23年3月期 22,426百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	20,800	4.2	680	26.1	900	74.1	650	△2.5	24.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、3ページ2. サマリー情報(その他)に関する事項をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	29,662,851 株	23年3月期	29,662,851 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	2,682,367 株	23年3月期	2,682,183 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	26,980,536 株	23年3月期2Q	26,981,145 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料の3ページをご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における世界経済は、欧米での財政・金融問題の深刻化や米国経済の減速懸念、新興国の成長の鈍化等により、不安定な情勢が続きました。一方、国内では、東日本大震災による経済への影響は持ち直しの動きが見られますが、急激な円高の進行などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、海外ゲーミング市場では、一部の地域で受注が回復する動きもあるものの、本格的な需要回復までには至らず、引き続き弱含みで推移しております。国内遊技場向機器市場では、パチスロへの人気回復基調にあり、持ち直しの傾向にあります。このような状況のもと、従前より進めている経営改善策の一環として、原価低減をはじめ、経費の削減などに取り組みました。

以上の結果、国内遊技場向機器市場での販売が好調に推移したことなどから、第2四半期連結累計期間における売上高は、105億62百万円（前年同四半期比9.4%増）、営業利益は3億99百万円（前年同四半期比103.1%増）、経常利益は3億89百万円（前年同四半期比453.4%増）、四半期純利益は2億93百万円（前年同四半期は13百万円）となりました。

なお、当第2四半期の為替レートは、米ドル81.78円（前年同四半期は91.02円）、ユーロは116.02円（前年同四半期は119.28円）で推移いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①日本金銭機械

海外事業におけるグループ内取引の見直しに伴い、当連結会計年度から従前の海外子会社向けの売上高の計上が縮小いたしました。この結果、当セグメントの売上高は42億95百万円（前年同四半期比32.6%減）となり、セグメント利益は2億72百万円の損失計上（前年同四半期は72百万円の利益計上）となりました。

#### ②遊技場向機器事業

パチスロコーナーの人気の回復により、関連設備機器の販売が伸張いたしました。また、新製品のカードユニットや他社メーカーとで共同展開する環境関連製品の販売に注力するとともに、景品管理システムの受注も堅調に推移いたしました。これらの結果、当セグメントの売上高は48億13百万円（前年同四半期比32.0%増）、セグメント利益は1億94百万円（前年同四半期は41百万円の損失計上）となりました。

#### ③北米地域

北米では、経済状況の回復が見られず、ゲーミング市場向けの販売は、前年並みの水準で推移いたしました。一方、コマース市場向けでは、顧客において在庫調整があったため販売は縮小するとともに、為替レートが円高で推移するなどのマイナス要因もありました。この結果、当セグメントの売上高は27億3百万円（前年同期比15.9%減）となりましたが、構造改革を推進したことなどにより、セグメント利益は1億1百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

#### ④欧州地域

ドイツでの規則改正に伴う需要の減退があった一方で、北欧でのシェアアップなどが寄与したことなどから、当セグメントの売上高は24億円（前年同四半期比9.6%増）、セグメント利益は2億1百万円（前年同四半期比19.3%増）となりました。

#### ⑤アジア地域

当セグメントは、当社グループの生産機能を担っております。また、当期より中国国内向けの販売活動をスタートしております。さらに、当四半期からは、当社グループ内取引の見直しを行い、当セグメントから北米・欧州に対して、物流・事務処理をダイレクトにつなげる構造改革を実行しております。この結果、当セグメントの売上高は31億58百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は1億円（前年同四半期比22.9%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は281億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億44百万円増加いたしました。新製品の量産化により「仕掛品」、「原材料及び貯蔵品」がそれぞれ増加しました。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は54億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少いたしました。新製品の量産に伴う部材の需要増加等により「支払手形及び買掛金」が増加した一方で、法人税等の支払により「未払法人税等」が減少しました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は226億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億59百万円増加いたしました。主に、「為替換算調整勘定」が増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間では、税金等調整前四半期純利益3億84百万円、減価償却費2億97百万円、売上債権の減少2億5百万円などによる資金の増加があった一方で、たな卸資産の増加4億53百万円などによる資金の減少がありましたので、営業活動によるキャッシュ・フローは、4億48百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得等がありましたので、2億94百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払等がありましたので、1億58百万円の支出となりました。

このほか、現金及び現金同等物に係る換算差額43百万円の資金の増加がありました。これらの結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ、38百万円増加し、81億88百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の業績予想につきましては、平成23年5月12日付決算短信の発表値からの変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(固定資産の減価償却方法の変更)

当社は工具・工具金型の減価償却方法について、従来、定率法によっておりましたが、商流変更に際して生産機能や使用実績の見直し等を行ったところ、製品の生産サイクルの長期化によって、工具・工具金型を長期安定的に稼働していることが明らかとなったため、耐用年数にわたり均等償却により費用配分を行うことが、費消実態をより適切に反映できるものと判断し、第1四半期連結会計期間より将来にわたり定額法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ37,182千円増加しております。

(耐用年数の変更)

当社が保有する工具・工具金型について、従来、工具の耐用年数を3年、工具金型の耐用年数を2年（少額固定資産は1年）として減価償却を行ってきましたが、商流変更に際して生産機能や使用実績の見直し等を行なったところ、工具・工具金型の耐久性の向上、使用実績の長期化の事実により、当初予定による耐用年数と現在以降の経済的使用予測期間との間に乖離が生じていることが明らかになったため、第1四半期連結会計期間より工具・工具金型の耐用年数を5年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ41,145千円増加しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結累計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,925,678	9,031,726
受取手形及び売掛金	4,461,467	4,275,430
有価証券	186,482	140,419
商品及び製品	3,318,419	3,147,158
仕掛品	482,973	887,059
原材料及び貯蔵品	2,532,977	2,785,504
その他	1,180,089	969,004
貸倒引当金	△85,789	△93,660
流動資産合計	21,002,299	21,142,642
固定資産		
有形固定資産	4,940,168	4,952,383
無形固定資産	330,602	229,056
投資その他の資産		
その他	1,860,615	2,054,424
貸倒引当金	△247,099	△247,051
投資その他の資産合計	1,613,516	1,807,372
固定資産合計	6,884,287	6,988,812
資産合計	27,886,586	28,131,455
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,567,235	2,952,064
未払法人税等	207,268	68,038
役員賞与引当金	23,500	12,000
賞与引当金	261,467	253,238
その他	1,414,610	1,257,539
流動負債合計	4,474,082	4,542,880
固定負債		
退職給付引当金	20,246	21,953
負ののれん	208,319	112,171
その他	757,785	768,774
固定負債合計	986,351	902,900
負債合計	5,460,434	5,445,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,216,945	2,216,945
資本剰余金	2,069,003	2,068,973
利益剰余金	23,159,174	23,263,935
自己株式	△2,325,734	△2,325,827
株主資本合計	25,119,389	25,224,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,729	36,496
繰延ヘッジ損益	397	—
為替換算調整勘定	△2,705,364	△2,574,850
その他の包括利益累計額合計	△2,693,236	△2,538,353
純資産合計	22,426,152	22,685,674
負債純資産合計	27,886,586	28,131,455

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	9,655,433	10,562,239
売上原価	5,367,206	6,266,688
売上総利益	4,288,226	4,295,551
割賦販売未実現利益戻入額	21,975	27,699
割賦販売未実現利益繰入額	71,471	43,695
差引売上総利益	4,238,730	4,279,554
販売費及び一般管理費	4,042,172	3,880,252
営業利益	196,558	399,302
営業外収益		
受取利息	16,754	16,710
受取配当金	16,043	11,542
負ののれん償却額	96,147	96,147
その他	53,132	11,129
営業外収益合計	182,078	135,529
営業外費用		
支払利息	10,743	12,249
為替差損	285,583	121,219
その他	11,907	11,773
営業外費用合計	308,235	145,242
経常利益	70,401	389,589
特別利益		
固定資産売却益	94	—
投資有価証券売却益	121,955	—
貸倒引当金戻入額	12,693	—
特別利益合計	134,743	—
特別損失		
固定資産売却損	66	—
固定資産除却損	9,689	2,812
投資有価証券評価損	28,589	2,368
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,528	—
特別損失合計	41,873	5,180
税金等調整前四半期純利益	163,271	384,408
法人税、住民税及び事業税	108,807	91,067
法人税等調整額	41,094	△284
法人税等合計	149,901	90,782
四半期純利益	13,369	293,625

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
四半期純利益	13,369	293,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△143,119	24,766
繰延ヘッジ損益	21,796	△397
為替換算調整勘定	△680,737	130,514
その他の包括利益合計	△802,060	154,882
四半期包括利益	△788,690	448,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△788,690	448,508
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	163,271	384,408
減価償却費	407,625	297,409
負ののれん償却額	△96,147	△96,147
引当金の増減額 (△は減少)	△13,548	△10,762
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△398,582	—
受取利息及び受取配当金	△32,798	△28,252
支払利息	10,743	12,249
為替差損益 (△は益)	57,173	81,781
有形固定資産除売却損益 (△は益)	9,660	2,812
投資有価証券売却損益 (△は益)	△121,955	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	28,589	2,368
売上債権の増減額 (△は増加)	△511,154	205,631
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,389,802	△453,896
仕入債務の増減額 (△は減少)	832,173	349,720
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△18,943	141,049
その他	226,648	△219,985
小計	△847,046	668,387
利息及び配当金の受取額	32,603	27,656
利息の支払額	△10,743	△12,249
法人税等の支払額	△103,716	△235,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	△928,902	448,081
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△216,509	—
有価証券の純増減額 (△は増加)	△182,410	△2,367
有形固定資産の取得による支出	△512,846	△233,869
有形固定資産の売却による収入	1,032	3,254
無形固定資産の取得による支出	△7,926	△4,535
投資有価証券の取得による支出	△379,212	△2,088
投資有価証券の売却による収入	354,320	—
貸付けによる支出	—	△55,646
貸付金の回収による収入	22,502	649
その他	△50	100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△921,100	△294,502

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△188,133	△188,292
リース債務の増加による収入	306,224	104,986
リース債務の返済による支出	△52,347	△74,932
自己株式の取得による支出	△242	△202
自己株式の売却による収入	—	80
財務活動によるキャッシュ・フロー	65,500	△158,360
現金及び現金同等物に係る換算差額	△432,757	43,225
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,217,260	38,444
現金及び現金同等物の期首残高	11,193,347	8,150,518
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,976,087	8,188,962

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	日本金銭機械	遊技場向機器事業	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高						
外部顧客への売上高	752,831	3,497,693	3,185,463	2,173,981	45,462	9,655,433
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,623,331	149,924	30,013	16,198	3,010,474	8,829,942
計	6,376,163	3,647,618	3,215,476	2,190,179	3,055,937	18,485,375
セグメント利益又は損失(△)	72,700	△41,289	93,321	169,132	130,608	424,473

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	424,473
未実現利益の消去	△366,356
負ののれん償却額	96,147
受取配当金の消去	△118,302
全社収益	16,630
その他の調整額	17,809
四半期連結損益計算書の経常利益	70,401

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	日本金銭機械	遊技場向機器事業	北米地域	欧州地域	アジア地域	
売上高						
外部顧客への売上高	721,458	4,709,034	2,660,716	2,392,260	78,768	10,562,239
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,574,416	104,293	42,286	8,079	3,080,188	6,809,264
計	4,295,874	4,813,327	2,703,003	2,400,340	3,158,957	17,371,503
セグメント利益又は損失(△)	△272,661	194,978	101,711	201,846	100,637	326,513

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	326,513
未実現利益の消去	70,695
負ののれん償却額	96,147
受取配当金の消去	△126,883
全社収益	12,229
その他の調整額	10,886
四半期連結損益計算書の経常利益	389,589

(注) 全社収益は、主に報告セグメントに帰属しない営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益又は損失の算定方法の重要な変更)

「会計方針の変更等」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より有形固定資産の減価償却方法及び耐用年数を変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、「日本金銭機械」で56,047千円、「遊技場向機器事業」で22,280千円それぞれ増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。